

ハナガガシ

Quercus hondae Makinoブナ科
Fagaceae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 IB

選定理由	九州と四国に分布する。県内では「豊後水道域」とその背後地の丘陵地に林をつくるが、生育範囲は狭い。他の地域では単木で生育しているものがあり、消滅の危険性が高い。
県内分布	別府湾沿岸域，豊後水道域，豊後水道後背地域
分布域	四国 九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)
生育環境	丘陵地。
現 状	国天然記念物のものを除けば住民の意識は薄く，隣接するスギの切り出しの邪魔になるということで伐採されたことがある。
備 考	国指定天然記念物「堅田郷八幡社のハナガガシ林」・一部県指定「城八幡社の自然林」(佐伯市)，県指定天然記念物「八坂神社のハナガガシ林」(弥生町)

アベマキ(自生種)

Quercus variabilis Bl.ブナ科
Fagaceae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 掲載なし

選定理由	本県では、植栽によるものが多く、自生種の生育地は瀬戸内型気候の岩場のごく狭い地域に限られている。森林伐採や植林などによって、生育地の消滅が懸念される。
県内分布	耶馬溪・国東丘陵地
分布域	本州(中～西部) 四国 九州(福岡・佐賀・長崎・大分) 朝鮮半島 中国・中国(東北部)
生育環境	低地や丘陵地の尾根林内。
現 状	「国東地区」では、地域開発による土地改変で生育地が狭くなっている。「耶馬溪地区」では、筑紫熔岩上に生育地がみられる。

タイワントリアシ

Boehmeria formosana Hayataイラクサ科
Urticaceae

カテゴリー

大分県 情報不足
環境庁 II

選定理由	
県内分布	(豊後水道後背地域)
分布域	九州(大分・鹿児島) 沖縄 中国 台湾
生育環境	低地の谷沿いの林内。
現 状	近年、ごく狭い範囲で生育地が確認されたが、林内の下刈りが行われ、その後、生育状態は把握されていない。
備 考	「豊後水道後背地域」は、日本における分布の北限域にあたる。